



吉舎中だより

令和4年2月25日（金）
第7号
吉舎中学校長 名越 隆樹

【学校教育目標】

夢や志をもち 心豊かに自己新記録を目指す生徒

立志式を終えて

2月19日（土）に立志式を行いました。3年生26人が中学校卒業を控えて、これまでの自分自身に目を向け、これから自分はどう生きたいかということを考え、述べました。

本校の立志式の目的として、次の三つを掲げています。

- （1）自己の生活や生き方を振り返り、今後の生き方を追求していく態度を育てる。
- （2）進路選択を目前にし、自己実現への決意を固める機会とする。
- （3）将来への考えや想いを仲間同士で共有し合うことを通して、お互いの「志（こころざし）」を学び高め合う集団を目指す。

立志式では、生徒一人一人が決意を漢字一文字で表し、それをもとに堂々と発表しました。式には、広島県立日影館高等学校の川中延晃校長先生に参加していただき、励ましの言葉をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

3年生全員、本校教育目標にある「夢や志をもち」をまさしく体現してくれました。これからは、その志をもって、自己実現していくための不断の努力が必要です。人生は平坦な道ばかりではありません。くじけそうになることもあるでしょうが、その都度、自分はどういう人間で、どうしたいのか、を自問自答しながら、めざす方向性を探り、自分で考え、決めることを習慣づけていってください。



1・2年生の皆さんも3年生の立志宣言に感銘を受けたと思います。「よし、3年生の卒業前には、自分も同じように志を立てて言えるようになるだろう」と思ったことでしょうか。しかし、できれば3年生になってからではなく、今からでも志を立て、それに向かって努力、挑戦していつてもらいたいと思います。それが早いほどが、中学校生活を充実させ、自分の可能性を広げ、高めることにつながっていくからです。広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力として、「自己を認識し、自分の人生を選択し表現することができる力」があります。自分の夢や目標を大切にしながら、“自分らしい”中学校生活を送ってください。

校内清掃ボランティア活動

2月15日（火）に、生徒会生活保健委員会企画として、校内清掃ボランティアを行いました。早朝の始業前にも関わらず、28名の生徒が参加して、校舎の窓ガラスを磨きました。汚れていた窓ガラスがきれいになり、心なしか校舎内が明るくなった気がします。お疲れさまでした。

今回、生活保健委員会で、「どんなところを掃除するとみんなが気持ちよく過ごせる場所になるか」と話し合い、この企画を練り、実施しました。何事も自分たちで何をどうすればよいのかを考え、実行するのはとても大変です。その代わり、やり遂げたときの充実感は、言われたからやった時とは比べ物になりません。

ボランティアという言葉インターネットで検索をしたら、次のような説明がありました。

ボランティアの語源はラテン語の『ボランタス (Voluntas)』で、本来の意味は「自由意志」である。それが戦乱の続くヨーロッパで「自警団」や「志願兵」という意味に次第に変化し、今日海外では「自発的に行動すること」という位置付けでこの言葉が使われている。

引用：<https://elemminist.com/article/23>

また、ボランティア活動の上で大切なポイント【ボランティア活動の4原則】について次のように書かれていました。

自分からすすんで行動する——「自主性・主体性」

ともに支え合い、学び合う——「社会性・連帯性」

見返りを求めない——「無償性・無給性」

よりよい社会をつくる——「創造性・開拓性・先駆性」

引用：<https://www.tvac.or.jp/shiru/hajime/gensoku.html>

時代とともに、ボランティアの意味が変化していますが、自分の意志で行動するということは変わっていないのかと思います。また、ボランティアをすることで、4原則にあるように、様々な資質・能力が身に付きますし、社会全体が良い方向に近づくことができるのではないかと思います。

現在、吉舎中学校では、この校内清掃ボランティアの他に、花植えボランティア、「きさ」小中高合同ボランティアクリーン活動に取り組んでいます。多くの生徒たちが自分の意志で参加して活動をしています。

その他にも、今後、本来のボランティアとは少し違うかもしれませんが、自分たちを育ててくれている故郷「きさ」に貢献できる活動を全校生徒で取り組んでいけたらと考えています。その際には、保護者や地域の方には、ご理解とご協力をお願いします。

